

科目名「障害者歯科学Ⅰ」

学年	学期	科目責任者
2	前学期	野本 たかと
科目ナンバリング	C-7-④-I-12	
単位数	1	
学修目標 (G I O)	障害者の地域生活支援体制が強化されている現在，地域歯科保健活動に携わる歯科衛生士として，障害児者の歯科医療に関わっていく必要がある。そのために障害者歯科の基本理念，障害に関する十分な医学的基礎知識と歯科診療上における何らかの配慮に必要な社会歯科学的背景の知識を身に付け，障害者地域歯科保健に関与した際の課題を解決してゆくための基本的な能力を修得する。	
担当教員	*野本たかと，*林佐智代，*田中陽子，*遠藤眞美，*矢口 学，*江口采花，*鈴木千夏，*白田翔平	
教科書	「歯科衛生士講座 障害者歯科学第3版」永末書店	
参考図書	「最新歯科衛生士教本 障害者歯科」全国歯科衛生士教育協議会監修（医歯薬出版） 「スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科」日本障害者歯科学会 編（医歯薬出版）	
評価方法 (E V)	評価は，平常試験2回で判定する。各講義担当者が出題し，配点の比重は講義回数に比例する。各平常試験の再試験は行わず，結果に応じてレポート提出の措置を講じることがある。正当な理由で平常試験を欠席した場合は追試験を実施する。	
学生へのメッセージ オフィスアワー	歯科医師および歯科衛生士の実務経験を活かし，住み慣れた地域で生活する障害児者の口腔の健康増進を支援できるような人材を育成する内容を説明する。講義を介して多様化する障害児者の存在を念頭においた地域歯科医療における歯科衛生士の役割を十分に認識して知識および技術を習得してください。オフィスアワー：月曜日～金曜日8：30～17：30	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/6	障害の概念と理解	<p>【授業の一般目標】 障害の概念と障害者の人権の意義について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. 障害の概念，ICF，ICDについて説明できる 2. 障害児者に関する法律および社会保障を説明できる 3. ノーマライゼーションについて説明できる</p> <p>【準備学修項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：日本国憲法と基本的人権 復習時間：60分，復習内容：障害の概念，法律，社会保障 【アクティブラーニングの有・無】 無</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	* 田中陽子

<p>第2回 4/13</p>	<p>障害の発生・原因と受容</p>	<p>【授業の一般目標】 障害の発生要因と受容について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. 障害発生要因について説明できる 2. 障害の受容について説明できる 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：先天奇形・異常 復習時間：60分、予習内容：障害の発生および受容 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*野本たかと</p>
<p>第3回 4/20</p>	<p>外表奇形と障害</p>	<p>【授業の一般目標】 障害児者に多く見られる外表奇形の発生要因と症状について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. 先天異常・奇形とは何か説明できる 2. 症候群にみられる外表奇形について説明できる 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：障害の概念 復習時間：60分、復習内容：顔面領域に表出する外表奇形 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*野本たかと</p>
<p>第4回 4/27</p>	<p>知的能力障害と歯科医療</p>	<p>【授業の一般目標】 知的能力障害の歯科医療提供に必要な基礎的知識を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容について教授する。 1. 知的能力障害について説明できる 2. 知的能力障害の歯科診療上の配慮について説明できる 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：障害者基本法 復習時間：60分、復習内容：知的能力障害と治療上の配慮 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*鈴木千夏 (野本 たかと)</p>
<p>第5回 5/11</p>	<p>発達障害と歯科医療 その1</p>	<p>【授業の一般目標】 発達障害児者への歯科医療提供に必要な基礎的知識を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容について教授する。 1. 発達障害について説明できる。 2. 発達障害の置かれた環境と生活支援について説明できる 3. 自閉スペクトラム症の歯科診療上の配慮について説明できる 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：発達障害者支援法 復習時間：60分、復習内容：発達障害者の社会的環境と支援 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*林佐智代</p>

<p>第6回 5/18</p>	<p>発達障害と 歯科医療 その2</p>	<p>【授業の一般目標】 発達障害者の歯科診療上の配慮について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容について教授する。 1. 学習障害の歯科診療上の配慮について説明できる 2. 注意欠陥多動性障害などの歯科診療上の配慮について説明できる 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：発達障害者の基本的知識 復習時間：60分，復習内容：発達障害と歯科診療上の配慮 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*江口采花 (野本たかと)</p>
<p>第7回 5/25</p>	<p>平常試験1および 解説講義</p>	<p>【授業の一般目標】 講義内容の知識が習得できているか確認することで自己評価ができる。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容について確認する。 平常試験1までの講義内容についての理解 【準備学修項目・時間】 予習時間：200分，予習内容：1回から7回までの講義内容 復習時間：60分，復習内容：自己評価および再習得 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 試験</p>	<p>*野本たかと *林佐智代 *田中陽子 *江口采花 *鈴木千夏</p>
<p>第8回 6/1</p>	<p>脳疾患・てんかんと 歯科医療</p>	<p>【授業の一般目標】 障害児者に合併しやすい脳・神経疾患についての基礎的知識と歯科診療上の配慮を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容について教授する。 1. 先天奇形による脳疾患と歯科診療上の配慮を説明できる 2. てんかんの歯科診療上の配慮を説明できる 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：障害の発生 復習時間：60分，復習内容：脳神経疾患と歯科診療上の配慮 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*矢口学 (野本たかと)</p>
<p>第9回 6/8</p>	<p>身体障害と 歯科医療 その1</p>	<p>【授業の一般目標】 身体障害と歯科診療上の配慮について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容について教授する。 1. 身体障害について説明できる 2. 脳性麻痺の分類や身体的特徴，原始反射について説明できる 2. 脳性麻痺の歯科診療上の配慮について説明できる 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：身体障害者基本法 復習時間：60分，復習内容：身体障害と歯科診療上の配慮 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*遠藤眞美</p>

<p>第10回 6/15</p>	<p>身体障害と 歯科医療 その2</p>	<p>【授業の一般目標】 身体障害と歯科診療上の配慮について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容について教授する。 1. 筋ジストロフィーの歯科診療上の配慮について説明できる 2. 二分脊椎, 脊髄損傷などの身体障害者の歯科診療上の配慮について説明できる 【準備学修項目・時間】 予習時間: 60分, 予習内容: 身体障害者の種類 復習時間: 60分, 復習内容: 身体障害と歯科診療上の配慮 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*江口采花 (野本たかと)</p>
<p>第11回 6/22</p>	<p>感覚器および 音声言語の障害と 歯科医療</p>	<p>【授業の一般目標】 感覚器障害と口腔機能の関連性を把握し, 歯科治療の重要性と注意事項を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容について教授する。 1. 視覚および聴覚障害の歯科診療上の配慮について説明できる 2. 音声言語障害の歯科診療上の配慮について説明できる 【準備学修項目・時間】 予習時間: 60分, 予習内容: 感覚器の構造と発生 復習時間: 60分, 復習内容: 感覚器障害と歯科診療上の配慮 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*林佐智代</p>
<p>第12回 6/29</p>	<p>内科的疾患と 歯科医療</p>	<p>【授業の一般目標】 障害児者における合併症としての内部疾患と歯科診療上の配慮について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容について教授する。 1. 先天性の代謝疾患の歯科診療上の注意事項を説明できる 2. 先天性の循環器疾患の歯科診療上の注意事項を説明できる 【準備学修項目・時間】 予習時間: 60分, 予習内容: 障害の発生 復習時間: 60分, 復習内容: 内部疾患と歯科診療上の配慮 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*矢口学 (野本たかと)</p>
<p>第13回 7/6</p>	<p>重症心身障害 および 医療的ケアの 歯科医療</p>	<p>【授業の一般目標】 増加する重症心身障害児者ならびに医療的ケア児についての基本的知識と歯科診療上の配慮について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき, 以下の内容について教授する。 1. 重症心身障害児者と医療的ケア児者について説明できる 2. 1における歯科診療上の配慮について説明できる 【準備学修項目・時間】 予習時間: 60分, 予習内容: 障害の発生 復習時間: 60分, 復習内容: 重症心身・医療的ケアと歯科診療上の配慮 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*田中陽子</p>

<p>第14回 7/13</p>	<p>障害者歯科医療に 歯科衛生士の役割 とリスク管理</p>	<p>【授業の一般目標】 障害児者の歯科治療における医療事故と予防を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下内容について教授する。 1. 歯科診療場面のリスク評価と管理について説明できる 2. 障害者歯科での衛生士の役割について説明できる 【準備学修項目・時間】 予習時間：60分， 予習内容：障害児者の行動特性 復習時間：60分， 復習内容：歯科医療とリスク管理 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>* 白田翔平</p>
<p>第15回 7/20</p>	<p>平常試験2および 解説講義</p>	<p>【授業の一般目標】 講義内容の知識が習得できているか確認することで自己評価 ができる。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容について確認する。 平常試験1以降の講義内容についての理解 【準備学修項目・時間】 予習時間：200分， 予習内容：9回から14回までの講義内容 復習時間：60分， 復習内容：自己評価および再習得 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 試験</p>	<p>* 野本たかと * 林佐智代 * 田中陽子 * 遠藤真美 * 矢口学 * 江口采花 * 白田翔平</p>